

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	13 環境にやさしい地域社会をつくる	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	1 環境にやさしい行動を促進する	【項】	リサイクル型の都市づくり
【基本事務事業】	1301 環境保全に関する総合管理をする	【基本計画区分】	403 【担当課】 3941000 環境計画課

【方針(目的)】	環境行政に対し、市民の意見、専門知識、公正な視点の確保を図る。	【外部環境の変化】	環境行政について、市民の意見反映、専門的な知識の導入、公正な視点の確保が求められている。	【取組み課題(現状と課題)】	近年市民生活に係わる環境問題等市長からの諮問事項はないが、迅速に問題に取り組める組織維持が必要である。	コード	配下事務事業名
						130101	環境審議会運営事業
						130102	環境計画庁内推進事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	行政の知識や感覚とは違う視点を持つ組織が必要である。	【目指す成果(今後の方針)】	環境に関する計画、さらには条例等の策定時に専門の知識、市民の意見等集約できる組織の活用を図る。
庁内会議開催数	3	3	3				
(回)							
	0	0	0				
( )							

【事務事業】 130101 環境審議会運営事業 担当課: 3941000 環境計画課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			【事業費】	計画区分 一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]		[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
市長の環境問題に対する諮問に応じ、市の環境行政について市民の意思の反映、専門的な知識の導入、公正な視点の確保を図るため、審議し答申する。諮問事項がない限り開催しない。	諮問に対する提言率	提言数/諮問数×100	100	100	100	100	計画額	128	128	128	128	
	(%)						(一般財源)	128	128	128	128	
	( )		0	0	0	0	職員数	0.07	0.07	0.07	0.07	
							(単位:人)					
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】					
審議委員	( )						環境審議会委員報酬 環境審議会運営業務					

【事前評価コメント】  
市民への大きな環境変化が予想できる案件が起きた場合、市長よりの諮問事案をスムーズに審議できる体制を維持していく。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 130102 環境計画庁内推進事業

担当課: 3941000 環境計画課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
市職員の環境への政策を認知させ、環境計画の効果的運営を図る。	環境計画推進事業会議開催回数 (回 )		1	2	2	2	計画額 (一般財源) (単位:千円)	0	0	0	0	0
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
							【関連する業務名称】					
【対象】 市職員	( )		0	0	0	0						

【事前評価コメント】  
市が推進する各種環境事業への市役所全体の取り組み等について、意見交換や協力体制を構築する。



平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】		130202 環境対策推進事業補助金		担当課: 3941000 環境計画課								
【目的】		【指標】		会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
		【指標概要】		基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
市内企業が抱える省エネルギー、公害等の環境対策問題の効率的な解消を図る。	相談・指導件数 (件 )			85	85	85	85	計画額 (一般財源) (単位:千円)	1,000 1,000	1,000 1,000	1,000 1,000	1,000 1,000
	情報提供件数 (件 )			77	77	77	77	職員数 (単位:人)	0.17	0.17	0.17	0.17
【関連する業務名称】												
【対象】				0	0	0	0					
松戸商工会議所会員約5500社を含む市内事業者		( )										
【事前評価コメント】												
商工会議所に対し補助金を交付し、各企業が持つ環境対策の相談事業の実施や、市内企業への情報提供及び収集をお願いする												



平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】

130302 環境美化活動団体等支援事業

担当課: 3941000 環境計画課

会計区分 一般会計

計画区分 一般事業

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
環境活動団体等の活動が活性化するように支援する。	市内環境関連活動団体等 (団体)		4	4	4	4	計画額 (一般財源) (単位:千円)	68 68	68 68	68 68	68 68
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.52	0.52	0.52	0.52
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】				
市民及び市内事業者	( )										

【事前評価コメント】

環境美化活動を促進するため、支援・情報の提供を図っていく。

# 平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	13 環境にやさしい地域社会をつくる	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	1 環境にやさしい行動を促進する	【項】	リサイクル型の都市づくり
【基本事務事業】	1304 温室効果ガスの排出を抑制する	【基本計画区分】	403 【担当課】 3941000 環境計画課

【方針(目的)】 地球環境規模で問題となっている、温暖化ガスの排出を減らす。	【外部環境の変化】 風力や太陽光などの自然の力を生かしたエネルギーにより環境負荷の軽減が求められている。低公害車、省エネ家電など環境負荷の低減が求められている。	【取組み課題(現状と課題)】 環境負荷を軽減する取組みを推進するため、新規の住宅建設に当たり太陽光発電などの設置を促進します。  緑のカーテンなど家庭や企業で出来る環境にやさしい省エネルギー対策の普及促進を図ります。	コード 130401 配下事務事業名 地球温暖化防止事業
---	---	---	------------------------------------

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】 風力太陽光発電の啓発設備が小・中学校にあり、こどもや保護者を通じて自然の力を利用した発電について学ぶ機会を設けている。地球温暖化防止を手軽に取組めるよう、「ゴウヤ」や「ヘチマ」を使った緑のカーテン事業の啓発に取り組んでいる。	【目指す成果(今後の方針)】 環境に配慮した行動を取れる市民が増えます。省エネルギー対策に取り組む人々が増えます。
太陽光発電設置数 (件)	160	180	200		
緑のカーテン実施件数 (件)	70	90	100		

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 130401 地球温暖化防止事業		担当課: 3941000 環境計画課									
【目的】		会計区分 一般会計				計画区分 計画事業					
温室効果ガスの発生を抑制し、地球温暖化防止を図る。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
	温室効果ガス発生量(市役所) (t)	地球温暖化防止実行計画による。	55985	53942	53942	53942	計画額 (一般財源) (単位:千円)	6,556	1,808	1,808	1,808
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	3.16	3.16	3.16	3.16
【対象】							【関連する業務名称】				
市民・事業者	( )		0	0	0	0	地球温暖化防止実行計画推進業務 新エネルギービジョン推進業務 省エネルギービジョン推進業務				
【事前評価コメント】 地球温暖化を防止するため省エネルギー対策の促進と新エネルギーを活用した地域づくりを推進する											

【計画事業】

【実施計画番号】 61 【計画事業名】 環境負荷軽減の取り組みを推進する為、新規住宅建設に当たり太陽光発電などの設置を促進します 他1事業  
 【節項コード】 403 【節名】 安全で快適な生活環境の実現  
 【項名】 リサイクル型の都市づくり

	H20	H21	H22
計画	平成14年度発生量から3.65%削減する平成14年度発生量55,985t平成20年度発生量53,942t	平成14年度発生量から3.65%削減する平成14年度発生量55,985t平成21年度発生量53,942t	平成14年度発生量から3.65%削減する平成14年度発生量55,985t平成22年度発生量53,942t
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

【実施計画番号】62 「家庭でできる省エネルギーの取り組み」や「緑のカーテン」など、家庭や企業でできる地球環境にやさしい省エネルギー対策の普及促進を図ります



# 平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	13 環境にやさしい地域社会をつくる	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 廃棄物による環境負荷を減らす	【項】	リサイクル型の都市づくり
【基本事務事業】	1305 廃棄物処理に係る情報を広域的に収集する	【基本計画区分】	403 【担当課】 3941000 環境計画課

## 【方針(目的)】

物質の廃棄に至る各段階での環境への負荷を低減することにより、循環型社会を構築する。

## 【外部環境の変化】

環境を守り、市民生活から発生するごみの適正な処理を図るうえで処分場の確保をはじめ、ごみ減量対策など総合的な取組みが求められている。

## 【取組み課題(現状と課題)】

ごみの減量対策を推進するため県との連携、他の自治体の情報収集、ごみ減量対策に関する研究をします。

## コード 配下事務事業名

- 130501 廃棄物適正処理推進事業
- 130502 廃棄物情報収集事業
- 130503 廃棄物情報提供事業
- 130504 清掃総務事務費

## 【指標】

数値目標達成度

[H20] [H21] [H22]

103 101 96

( % )

0 0 0

( )

## 【内部要因(強み・弱み)】

ごみの3分別を実施しているがごみの減量が進まない。

## 【目指す成果(今後の方針)】

ごみ処理に関する広域での連携や情報交換体制の整備を行い、ごみ減量対策など総合的な取組みを研究し、ごみ処理基本計画の策定や進行管理を行います。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 130501 廃棄物適正処理推進事業

担当課: 3941000 環境計画課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 計画事業					
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
廃棄物による環境への負荷がより小さい「資源循環型社会」を構築するため、市民・事業者・行政が協働してごみの減量・資源化等を推進して、市内から発生する一般廃棄物について最終処分量の削減を図る。	ごみ処理基本計画<数値目標>の達成度 (%)		100	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位:千円)	300	300	300	300	300
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】 五市清掃会議業務 資源循環型社会構築検討業務					
市民・市内事業者	( )											
【事前評価コメント】 ごみ処理基本計画で掲げている事業の確実な履行及び進捗管理の実施												

【計画事業】

【実施計画番号】 65 【計画事業名】 資源循環型社会を構築するため、ごみの減量・リサイクルを促進します

【節項コード】 403 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 リサイクル型の都市づくり

	H20	H21	H22
計画	ごみ処理費用の適正 負担	ごみ処理費用の適正 負担	ごみ処理費用の適正 負担
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

<b>【事務事業】</b>		130502 廃棄物情報収集事業	担当課: 3941000 環境計画課								
<b>【目的】</b>			会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
環境事業の効率的な運営及び技術の改善のための必要な調査・研究・情報管理等を行うことにより、環境事業の円滑な推進を図る。	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]
	情報交換件数 (件)		20	20	20	20	計画額 (一般財源) (単位:千円)	513 513	513 513	513 513	513 513
	協議会への参加回数 (回)		6	6	6	6	職員数 (単位:人)	0.44	0.44	0.44	0.44
<b>【対象】</b>			0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> 全国都市清掃会議負担金 千葉県環境衛生促進協議会負担金				
			<b>【事前評価コメント】</b> 引き続き情報収集の場として活用していく								

<b>【事務事業】</b>		130503 廃棄物情報提供事業	担当課: 3941000 環境計画課								
<b>【目的】</b>			会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
清掃事業の効率的な運営及び技術の改善のための必要な情報収集を行うことにより、清掃事業の円滑な推進を図る	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]
	情報件数 (件)		20	20	20	20	計画額 (一般財源) (単位:千円)	135 135	138 138	138 138	138 138
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.15	0.15	0.15	0.15
<b>【対象】</b>			0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b>				
			<b>【事前評価コメント】</b> 引き続き情報収集の場として活用していく								

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 130504 清掃総務事務費

担当課: 3941000 環境計画課

会計区分 一般会計

計画区分 一般事業

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			【事業費】	計画区分 一般事業			
				[H20]	[H21]	[H22]		[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
清掃行政の円滑を図る。	( )		0	0	0	0	計画額 (一般財源) (単位:千円)	67 37	89 59	89 -301	89 59
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.2	0.2	0.2	0.2
							【関連する業務名称】				
【対象】			0	0	0	0					
環境担当部職員	( )										

【事前評価コメント】  
効率的な執行を図る

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】 13 環境にやさしい地域社会をつくる  
 【施策】 2 廃棄物による環境負荷を減らす  
 【基本事務事業】 1306 廃棄物の減量を促進する

【節】 安全で快適な生活環境の実現  
 【項】 リサイクル型の都市づくり  
 【基本計画区分】 403 【担当課】 3943000 環境業務課

【方針(目的)】  
 物質の廃棄に至る各段階での環境への負荷を低減することにより、循環型社会を構築する。

【外部環境の変化】  
 大量生産・大量消費・大量廃棄型社会を見直し、また、ライフスタイルの見直しをすると共に、資源の消費を抑制し環境への負荷を低減する循環型社会の構築を図ることが必要とされている。

【取組み課題(現状と課題)】  
 ごみ量は、人口が増加のなかで増減を繰り返しながら、近年横ばい状況になっている。今後も引き続きごみの発生量を抑制することが課題である。

コード 配下事務事業名  
 130601 ごみ減量促進事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]
リサイクル率 (%)	30	30	30
	0	0	0

【内部要因(強み・弱み)】  
 限られた資源の有効活用とごみ処理施設の処分量に限りがあることから、ごみの減量対策を講ずる必要がある。

【目指す成果(今後の方針)】  
 ごみの分け方、出し方の周知徹底を図り、ごみの減量化、資源化に取り組んで参ります。

【事務事業】 130601 ごみ減量促進事業

担当課: 3943000 環境業務課

【目的】  
 家庭ごみの減量及び事業ごみの資源化を促進する。

会計区分 一般会計 計画区分 一般事業

【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
リサイクル率 (%)	資源(委託+集団回収)/ごみ量×100	28.7	30	30	30	計画額 (一般財源) (単位:千円)	15,916 15,526	8,415 8,044	8,415 8,044	8,415 8,044
減量機器類に対する補助基数 (基)		256	290	290	290	職員数 (単位:人)	3.19	3.19	3.19	3.19
【対象】 家庭ごみ排出者、事業ごみ排出者		0	0	0	0	【関連する業務名称】 事業系廃棄物対策業務 減量機器類普及・促進業務 ごみ減量促進啓発業務				

【事前評価コメント】  
 家庭ごみ及び事業ごみの減量及び啓発活動も継続して行う必要があるため、事業を継続して行う。

【政策】 13 環境にやさしい地域社会をつくる  
 【施策】 2 廃棄物による環境負荷を減らす  
 【基本事務事業】 1307 廃棄物の資源化を促進する

【節】 安全で快適な生活環境の実現  
 【項】 リサイクル型の都市づくり  
 【基本計画区分】 403 【担当課】 3943000 環境業務課

【方針(目的)】  
 資源の有効利用を促進するため、再利用の促進やリサイクル活動を促進する。

【外部環境の変化】  
 リサイクル活動は、ごみ減量・資源の有効活用を促進するための有効な手段であるため、集団回収制度の拡大に向けて支援が必要とされている。循環型社会を構築していく上で3R(リデュース・リユース・リサイクル)施策を推進し、その中でリユース(再使用)の意識向上が必要とされている。

【取組み課題(現状と課題)】  
 集団回収実施地域は、市内の約8割にとどまっている。木製粗大ごみの中で、修理可能な良品が減少している。

コード 配下事務事業名  
 130701 民間回収資源化システム支援事業  
 130702 資源ごみリサイクル事業  
 130703 容器包装リサイクルごみ処理事業  
 130704 木製粗大ごみ再生事業  
 130705 紙パック回収事業  
 130706 建設工事廃棄物資源化促進事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]
集団回収団体数	480	490	500
(団体)	0	0	0
( )			

【内部要因(強み・弱み)】  
 資源ごみ収集と集団回収制度が併存しており、集団回収が実施されていない地域がある。粗大ゴミの木製品再利用展示場があり、粗大ゴミとして出されたタンスなどの木製粗大ゴミが再利用できる。

【目指す成果(今後の方針)】  
 資源が有効活用され、ごみ処理コストが削減できるので、集団回収実施地域を全市に拡大していく。リユース(再使用)に関する意識を向上させるため、木製粗大ごみ再生事業のあり方を検討します。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 130701 民間回収資源化システム支援事業

担当課: 3943000 環境業務課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 計画事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
家庭ごみの再資源化を促進するため、民間回収活動を支援する。	集団回収量 (t)	集団回収量	28241	28800	28800	28800	計画額 (一般財源)	252,215 252,215	262,937 262,937	262,937 262,937	262,937 262,937
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	2.4	2.4	2.4	2.4
【対象】	( )		0	0	0	0	【関連する業務名称】				
【事前評価コメント】 家庭ごみ再資源化のためにリサイクル活動を推進することが有効な手段であることから事業を継続していく。											

【計画事業】

【実施計画番号】 63 【計画事業名】 廃棄物の再資源化を図るため、市内全域での集団回収の利用を拡大します

【節項コード】 403 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 リサイクル型の都市づくり

	H20	H21	H22
計画	家庭から排出される資源物の集団回収を実施する団体数 470団体	家庭から排出される資源物の集団回収を実施する団体数 480団体	家庭から排出される資源物の集団回収を実施する団体数 500団体
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

<b>【事務事業】</b>		130702	<b>資源ごみリサイクル事業</b>	担当課: 3947000 日暮クリーンセンター								
<b>【目的】</b>				会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
松戸市の最終処分量を減らすために、資源ごみ及び金属性粗大ごみを選別し売却等によりリサイクルを行う。	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]	
	資源化率 (%)	選別資源物重量/搬入ごみ重量 × 100	81	81	81	81	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	486,085 420,439	486,085 420,439	486,085 420,439	486,085 420,439	
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	3.8	3.8	3.8	3.8	
<b>【対象】</b>			0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> 資源リサイクルセンター選別委託業務 資源リサイクルセンター維持管理業務 資源リサイクルセンター整備業務					
資源ごみ・粗大ごみ・有害ごみ及びペットボトルの排出者	( )											
<b>【事前評価コメント】</b> 資源ごみリサイクルルートの多様化を視野に入れ、処理方法の最適化を図ることによって経費節減に努めながら施設を維持管理する。												

<b>【事務事業】</b>		130703	<b>容器包装リサイクルごみ処理事業</b>	担当課: 3947000 日暮クリーンセンター								
<b>【目的】</b>				会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
プラスチックを容器包装リサイクル法に基づくリサイクルルートで資源化するため、圧縮等の必要な処理を行う。	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]	
	容器包装プラスチック搬出量 (t)	容器包装プラスチック搬出量	8000	8000	8000	8000	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	347,545 338,591	347,545 338,591	347,545 338,591	347,545 338,591	
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位: 人)	6.1	6.1	6.1	6.1	
<b>【対象】</b>			0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> 日暮クリーンセンター運転管理業務 日暮クリーンセンター維持管理業務 日暮クリーンセンター整備業務 日暮クリーンセンター圧縮ごみ運搬等					
リサイクルするプラスチック・その他プラスチック及び混成粗大ごみ排出者	( )											
<b>【事前評価コメント】</b> 容器包装プラスチックの資源化は、循環型社会構築の重要な役目を担っている。よって、経費削減に努めながら施設を維持管理する。												



平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 130704 木製粗大ごみ再生事業

担当課: 3943000 環境業務課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 計画事業					
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	
使える物はごみにせず、市民リサイクル意識を醸成するため、木製粗大ごみを再生、展示、販売し、資源化の一助とする。	来場者数 (人)	来場者数	2759	3000	3500	4000	【事業費】					
							計画額 (一般財源)	4,189 3,304	4,201 3,841	4,201 3,841	4,201 3,841	
	販売点数 (点)	販売点数	430	430	430	430	職員数 (単位:人)	1.2	1.2	1.2	1.2	
【対象】							【関連する業務名称】					
木製粗大ごみを再利用したいと思っている市民居住者、通勤者、通学者	( )		0	0	0	0						

【事前評価コメント】

ミニリサイクルプラザの入場者数が減少しているが、木製粗大ごみ販売点数が目標を上回っているため、事業を継続していく。

【計画事業】

【実施計画番号】 64 【計画事業名】 リユース(再利用)に関する意識を向上させるため、木製粗大ごみ再生事業を促進します

【節項コード】 403 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 リサイクル型の都市づくり

	H20	H21	H22
計画	販売点数 430点	販売点数 430点	販売点数 430点
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

<b>【事務事業】</b>		<b>130705 紙パック回収事業</b>	担当課: 3943000 環境業務課								
【目的】			会計区分 一般会計				計画区分 一般事業				
紙パックの再資源化を促進する。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
	紙パック回収量 (kg )	紙パック回収量	6140	6140	6140	6140	計画額 (一般財源) (単位:千円)	0	0	0	0
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.05	0.05	0.05	0.05
【対象】			【関連する業務名称】								
市民(紙パック排出者)		( )	0	0	0	0					
【事前評価コメント】		ボランティア団体、回収業者の協力による紙パックの回収ルートの確保ができていますので、事業を継続していく。									

<b>【事務事業】</b>		<b>130706 建設工事廃棄物資源化促進事業</b>	担当課: 5024000 建築指導課								
【目的】			会計区分 一般会計				計画区分 一般事業				
建設工事廃棄物の分別解体及び再資源化を促進するため、対象建設工事の発注者又は、自主施工者に計画の届出及び適正な実施を指導する。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
	分別解体実効応答率 (% )	建設工事廃棄物の分別に関するパトロールを実施した中で、適正に分別が実施された件数(分別解体実効適正件数/分別解体実効確認件数)	90	90	91	92	計画額 (一般財源) (単位:千円)	23	23	23	23
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.75	0.55	0.55	0.55
【対象】			【関連する業務名称】								
解体工事等発注者		( )	0	0	0	0	解体工事届出審査業務 違反解体工事防止業務				
【事前評価コメント】		木造建築物の分別解体・再資源化率が低いため、これらを重点的に行う。									

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	13 環境にやさしい地域社会をつくる	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 廃棄物による環境負荷を減らす	【項】	リサイクル型の都市づくり
【基本事務事業】	1308 廃棄物を適正に処理する	【基本計画区分】	403 【担当課】 3941000 環境計画課

【方針(目的)】 廃棄物を適正に処理するため、ごみの減量化に関する施策を進めるとともに、ごみ処理施設や処分場などの機能を維持します。	【外部環境の変化】 消費を抑制し、ごみを減らす循環型社会の意識の高まり。地球温暖化防止についての意識の高まり。  最終処分場の市内の候補地がない。ごみ処理施設の新たな建設候補地がない。	【取組み課題(現状と課題)】 循環型社会を進展させるため、ごみの減量化に関する事業のあり方を検討します。最終処分量の減量化を図りながら最終処分場を確保します。安全で安定したごみ処理機能を維持するため、クリーンセンター・和名ヶ谷クリーンセンターの機器の更新等を行います。	コード 配下事務事業名 130801 ごみ分別排出指導事業 130802 ごみ収集事業 130803 ごみ処理事業 130804 し尿収集事業 130805 し尿処理事業 130806 清掃施設関係事業 130807 清掃施設周辺住民健康管理事業 130808 クリーンセンター体育施設管理運営事業 130809 東部スポーツパーク管理運営事業 130810 和名ヶ谷スポーツセンター管理運営事業
【指標】	【内部要因(強み・弱み)】 ごみの8分別を実施しているが、ごみの減量が進まない。環境問題に積極的に協力する市民・企業・ボランティア団体及びNPO団体が多い。焼却ごみの灰や不燃ゴミなどの市外の最終処分場を確保し、廃棄物の適正処理を進めている。ごみ処理施設が市内2ヶ所あり、47万の人口を抱える市内のごみ処理の使命を果たしている。	【目指す成果(今後の方針)】 ごみの排出量が抑制されます。ごみ処理費用の増加が抑制され、安定的なごみ処理が維持されます。クリーンセンター・和名ヶ谷クリーンセンターの稼働期間が延長します。	
ごみ収集への苦情件数 (件)	[H20] [H21] [H22] 200 200 200		
施設の故障件数 (件)	0 0 0		

【事務事業】	130801	ごみ分別排出指導事業	担当課: 3943000 環境業務課
【目的】	ごみの適正な排出を図り、収集業務を円滑に行うため、啓発活動を徹底する。		
【指標】	【指標概要】	基準値	【事業費】
家庭ごみの分別指導件数 (件)	家庭ごみの分け方・出し方の指導件数	[H20] [H21] [H22]	[事業費] [基準年] [H20] [H21] [H22]
( )		100 100 100 100	計画額 7,290 10,767 10,767 10,767 (一般財源) 7,290 10,767 10,767 10,767 (単位: 千円)
( )		0 0 0 0	職員数 4.55 4.55 4.55 4.55 (単位: 人)
【対象】	家庭ごみを8分別により排出する市民	0 0 0 0	【関連する業務名称】
【事前評価コメント】	家庭ごみ分別チラシの配布、パートナー講座の実施等今後も啓発活動を実施していく。		

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 130802 ごみ収集事業		担当課: 3943000 環境業務課					会計区分 一般会計					計画区分 一般事業				
【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
市民の住環境を確保するため、市民が排出した家庭ごみを適正に回収する。	ごみ取り残しの苦情件数 (件)	ごみ集積所における取り残しごみの苦情件数	250	250	250	200	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	1,689,487 1,617,590	1,661,681 1,594,482	1,661,681 1,594,482	1,661,681 1,594,482	職員数 (単位: 人)	3.65	3.65	3.65	3.65
	( )		0	0	0	0	【関連する業務名称】 ごみ収集委託業務 粗大ごみ収集受付委託業務									
【対象】 家庭ごみの排出者	( )		0	0	0	0										
【事前評価コメント】 集団回収との回収方法の整合を図る等適正な収集体系を確立に向けて努めていく。																

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 130803 ごみ処理事業		担当課: 3941000 環境計画課									
【目的】		会計区分 一般会計			計画区分 計画事業						
市民・事業者が排出する一般廃棄物について、安定した処理体制を確保し、適正処理に努める。	【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	【基準年】	[H20]	[H21]	[H22]
	施設の故障・異常発生件数 (件)		0	0	0	0	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	0	3,465,788	2,965,788	2,667,788
	焼却処理施設の排出ガス規制等遵守率 (%)	適合回数 / 測定回数 × 100	100	100	100	0	職員数 (単位: 人)	47.95	47.95	47.95	47.95
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】				
市民・市内事業者	( )						処理計画策定業務 クリーンセンター焼却残灰等運搬委託 クリーンセンター維持管理業務 クリーンセンター整備業務 クリーンセンター運転業務 和名ヶ谷クリーンセンター焼却残灰等		和名ヶ谷クリーンセンター維持管理業 和名ヶ谷クリーンセンター整備業務 和名ヶ谷クリーンセンター運転業務 廃棄物最終処分関連業務 日暮最終処分場維持管理業務 日暮最終処分場整備業務		
【事前評価コメント】 施設にトラブルが発生すると、日常、発生する廃棄物の適正処理が困難になるため、定期整備の適正な実施はもとより、日頃の管理の徹底を図っていく											

【計画事業】

【実施計画番号】 66 【計画事業名】 最終処分量の削減を図りながら最終処分場を確保します 他2事業  
 【節項コード】 403 【節名】 安全で快適な生活環境の実現  
 【項名】 リサイクル型の都市づくり

	H20	H21	H22
計画	中間処理施設の運営 体制の見直し 最終処分場の確保	中間処理施設の運営 体制の見直し 最終処分場の確保	中間処理施設の運営 体制の見直し 最終処分場の確保
実績			

【備考】 (計画事業が複数ある場合には、2つ目以降の実施計画名称は備考欄に記載しています)

【実施計画番号】67 安全で安定したごみ処理機能を維持するため、クリーンセンターの機器の更新等を行います 【実施計画番号】68 安全で安定したごみ処理機能を維持するため、和名ヶ谷クリーンセンターの機器の更新等を行います

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

<b>【事務事業】</b>		130804	<b>し尿収集事業</b>	担当課: 3943000 環境業務課							
<b>【目的】</b>				会計区分 一般会計	計画区分 一般事業						
生活環境を清潔に保全する	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]
	し尿収集量 (K?)	人頭制・従量制の収集量	6643	5252	4737	4273	計画額 (一般財源) (単位:千円)	124,828 86,298	121,312 92,401	113,979 87,661	106,646 82,896
	汲取り世帯の減少 (世帯)	市内世帯と汲取り世帯の割合	2423	1943	1740	1558	職員数 (単位:人)	3.8	3.8	3.8	3.8
<b>【対象】</b>			0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> し尿収集委託業務 し尿収集関連業務				
市内に汲取り式便所を有する世帯、法人及び建設場所等の仮設トイレ	( )										
<b>【事前評価コメント】</b> 水洗化が完了するまでは、事業規模を縮小しつつ継続しなければならない。											

<b>【事務事業】</b>		130805	<b>し尿処理事業</b>	担当課: 3946000 東部クリーンセンター							
<b>【目的】</b>				会計区分 一般会計	計画区分 一般事業						
汲み取り便所及び浄化槽を利用している市民の生活に支障を来たさないよう、処理施設の管理運営及び整備の改善を図る。	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]
	故障回数 (回)		0	0	0	0	計画額 (一般財源) (単位:千円)	406,711 301,616	421,419 318,099	420,926 318,961	420,432 319,844
	放流水水質遵守率 (%)	適合項目数 / 検査項目数 × 100	100	100	100	100	職員数 (単位:人)	4.85	4.85	4.85	4.85
<b>【対象】</b>			100	100	100	100	<b>【関連する業務名称】</b> 東部クリーンセンター運転委託業務 東部クリーンセンター維持管理業務 東部クリーンセンター整備業務 東部クリーンセンター汚泥運搬等委託				
汲み取り便所及び浄化槽を利用している市民(通勤者含む)	し尿・浄化槽汚泥処理率 (%)	実汚泥量 / 計画汚泥量 × 100	100	100	100	100					
<b>【事前評価コメント】</b> 下水道の普及に伴い処理量は減少しており、処理量を的確に把握し、適切な維持管理と効率的な運用に努め、計画的な整備を実施していく。											

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

<b>【事務事業】</b>		<b>130806 清掃施設関係事業</b>	担当課: 3941100 環境計画課・施設担当室									
<b>【目的】</b>			会計区分 一般会計			計画区分 一般事業						
清掃施設及び最終処分場の維持管理 労働環境の適正化 清掃施設周辺の環境保全	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]	
	排出規制等を遵守する (%)	排出基準達成項目/全測定項目×100【目標=現況維持】理由:環境負荷を低減するため	100	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位:千円)	201,552 201,552	27,637 27,637	27,637 27,637	27,637 27,637	
	作業に支障を及ぼす異常発生をなくす (件)	作業に支障を及ぼす異常発生件数【目標=現況維持】理由:適正な労働環境を維持するため	0	0	0	0	職員数 (単位:人)	2.96	2.96	2.96	2.96	
<b>【対象】</b>			0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> 六和クリーンセンター維持管理業務 千駄堀最終処分場跡地暫定利用業務 労働安全・衛生対策業務 清掃施設周辺道路清掃業務					
		<b>【事前評価コメント】</b> 施設の維持管理及び周辺環境の保全を行うと伴に千駄堀最終処分場の跡地利用を図る										

<b>【事務事業】</b>		<b>130807 清掃施設周辺住民健康管理事業</b>	担当課: 3945000 クリーンセンター									
<b>【目的】</b>			会計区分 一般会計			計画区分 一般事業						
クリーンセンター操業に伴う周辺住民の井戸水検査並びに健康診断の実施及び経年変化を把握する。	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]	
	井戸水水質検査実施率 (%)	水質検査実施井戸本数/井戸水検査対象井戸本数×100	98.9	100	100	100	計画額 (一般財源) (単位:千円)	3,647 3,647	4,333 4,333	4,333 4,333	4,333 4,333	
	健康診断受診者数 (人)	クリーンセンター建設当時の和解除条項に基づく健康診断の受診者数	77	100	100	100	職員数 (単位:人)	0.73	0.73	0.73	0.73	
<b>【対象】</b>			0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> 井戸水検査業務 住民健康診断業務					
		<b>【事前評価コメント】</b> クリーンセンター建設に伴う和解除条項に基づくものであるため、事業の継続が必要である。										

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

<b>【事務事業】</b>		130808	クリーンセンター体育施設管理運営事業	担当課:	3945000	クリーンセンター						
<b>【目的】</b>				会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
市民の健康の増進と明るく豊かな市民生活を形成するため、クリーンセンターの余熱を利用してその活動の場を提供する。		<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
		体育施設利用者数 (人)	施設の年間利用者数を減少させない。	85229	85000	85000	85000	計画額 (一般財源) (単位:千円)	57,832 48,204	59,276 50,392	62,548 50,979	62,548 50,979
		施設利用に支障を及ぼす不良箇所の発生数 (人)	施設を安全・快適に利用して頂くため、施設利用に支障を及ぼすような不良箇所の発生数を無くす。	0	0	0	0	職員数 (単位:人)	3.5	3.5	3.5	3.5
<b>【対象】</b>				0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> 施設提供業務 施設維持管理業務 施設整備業務				
健康増進や余暇を充実したいと考える市民と施設周辺住民				<b>【事前評価コメント】</b> 利用者が安全で快適に利用できるよう計画的に維持管理を継続する。								

<b>【事務事業】</b>		130809	東部スポーツパーク管理運営事業	担当課:	3946000	東部クリーンセンター						
<b>【目的】</b>				会計区分 一般会計			計画区分 一般事業					
市民の健康と明るく豊かな市民生活の形成に助するため、その活動の場を提供し、市民および地元住民の便利施設として運営する。(アスレチック公園を含めたスポーツ施設を提供する。)		<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
		利用者数 (人)	施設の年間利用者数	58338	58500	58500	58500	計画額 (一般財源) (単位:千円)	37,713 31,750	44,219 38,719	44,219 38,719	44,219 38,719
		( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	2.4	2.4	2.4	2.4
<b>【対象】</b>				0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> 施設提供業務 施設維持管理業務 施設整備業務				
健康と知識を求める市民および地元住民				<b>【事前評価コメント】</b> 利用者が安全で快適に使用できるように計画的に整備し、維持管理を継続していく。								



平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 130810 和名ヶ谷スポーツセンター管理運営事業

担当課: 3948000 和名ヶ谷クリーンセンター

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
市民の健康の増進と地元住民への還元として活動の場を提供する。	利用者数 (人)	施設の年間利用者数	276446	276000	276000	276000	計画額 (一般財源) (単位: 千円)	250,003 175,340	269,725 195,594	266,696 192,565	262,146 188,015
	苦情件数 (件)	施設利用に対する苦情件数	19	15	13	10	職員数 (単位: 人)	4.3	4.3	4.3	4.3
【対象】 健康の増進や余暇の充実に望んでいる人。	( )		0	0	0	0	【関連する業務名称】 施設提供業務 施設維持管理業務 施設整備業務				

【事前評価コメント】  
利用者が安全で快適に使用できるように計画的に維持管理を継続していく。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	13 環境にやさしい地域社会をつくる	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 廃棄物による環境負荷を減らす	【項】	リサイクル型の都市づくり
【基本事務事業】	1309 不法投棄を減らす	【基本計画区分】	403 【担当課】 3943000 環境業務課

【方針(目的)】 物質の廃棄に至る各段階での環境への負荷を低減させ、循環型社会を構築する。	【外部環境の変化】 地域の公衆衛生の悪化を招く虞があることから市の施設で処理可能なものについては、収集を実施しているが、不法投棄物が広範囲地に及ぶため、関係機関とも機会あることに連携を図り、啓発等の防止策を実施している。	【取組み課題(現状と課題)】 廃棄物に関する様々な規制(家電リサイクル法)等により、不法投棄が増えているため、啓発の強化が望まれる。	コード 配下事務事業名 130901 不法投棄防止事業 130902 放置自動車対策事業
--	---	---	--

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】 廃棄物処理に係るモラルの低下を招くおそれがある。環境に悪影響を及ぼす可能性がある。	【目指す成果(今後の方針)】 市民意識の向上を図るため、市民や事業者に対し、啓発や指導を実施するとともに、現行パトロール等の強化及び関係機関との連携等により監視体制の強化を図る。
不法投棄のごみ量 (t)	240	240	240		
( )	0	0	0		
( )					

【事務事業】 130901 不法投棄防止事業 担当課: 3943000 環境業務課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			【事業費】	【計画額】	計画区分 一般事業		
				[H20]	[H21]	[H22]			[基準年]	[H20]	[H21]
清潔な地域社会の構築を図るため、不法投棄を防止していく。	不法投棄ごみ量 (kg)	廃棄物処理法に反して、投棄されたごみ量	240000	240000	240000	240000	計画額 (一般財源) (単位:千円)	14,656 13,428	25,155 25,155	25,155 25,155	25,155 25,155
	不法投棄に関する処理件数 (件)	廃棄物処理法に反して、投棄されたごみの処理件数	370	350	350	350	職員数 (単位:人)	12.55	12.55	12.55	12.55
【対象】 ごみの排出者	春・秋のクリーンデー、江戸川クリーン作戦の参加人数 (人)	(春)町会・自治会の参加人数(秋)町会・自治会・学校(小・中・高)・ボランティアの参加人数(江戸川)江戸川沿いの住民・各種団体等の参加人数	140000	140000	140000	140000	【関連する業務名称】 ボイ捨て対策業務 クリーンデー業務 不法投棄防止パトロール業務 不法投棄ごみ処理業務 オイルフェンス清掃業務				

【事前評価コメント】  
市職員及び清掃組合による不法投棄防止パトロールを今後も実施して行く。また、クリンクル推進員によるごみ集積所における不法投棄等に対する監視活動を実施していく。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【事務事業】 130902 放置自動車対策事業

担当課: 3923000 生活安全課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
道路交通の安全と円滑化及び良好な生活環境の確保を図り、もって都市機能の維持及び増進に寄与する。	放置自動車の保管所移送台数 (台)		73	68	63	58	計画額 (一般財源) (単位:千円)	1,675 1,367	1,696 1,388	1,696 1,388	1,696 1,388
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	2.32	2.32	2.32	2.32
【対象】 放置原因者(市内への自動車等放置者)	( )		0	0	0	0	【関連する業務名称】 放置自動車等審査会委員報酬 (5人) 放置自動車対策業務				

【事前評価コメント】

放置自動車等は年々減少傾向にあるもののいまだに後を絶たない。今後は市民の良好な生活環境を確保するため関係機関と連携を深め放置自動車等の防止及び適正な処理を行いたい。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	13 環境にやさしい地域社会をつくる	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	3 大気汚染に係る物質を減らす	【項】	リサイクル型の都市づくり
【基本事務事業】	1310 大気汚染に関する規制、指導、監視及び調査を行う	【基本計画区分】	403 【担当課】 3942000 環境保全課

【方針(目的)】	行政、市民、事業者が一体となって大気汚染防止対策を行い、大気汚染物質を減らす。	【外部環境の変化】	大気汚染状況は横ばいである。市民の大気汚染に対する関心は高まっている。県内の自動車保有台数は増加している。	【取組み課題(現状と課題)】	事業者に対し固定発生源に係る規制や指導を行う。市民に対し啓発により大気環境についての関心を高める。自動車排出ガス対策については、国や県の施策を市民や事業者に浸透させる。	コード	配下事務事業名
						131001	大気汚染対策事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	【目指す成果(今後の方針)】
排出基準違反件数 (件)	0	0	0	都市域への環境負荷が集積している。自動車対策については、国や県等と連携し総合的な取り組みが必要である。	大気汚染物質の発生が抑制される。大気汚染物質の濃度が低減される。市民が快適と感じられる大気環境になる。
( )	0	0	0		
( )					

【事務事業】 131001 大気汚染対策事業 担当課: 3942000 環境保全課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
				[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
市民生活に密接な大気環境負荷を軽減するために法に基づく規制や大気の常時監視を行い、結果を公表する。	排出基準違反者数 (件)	大気汚染防止法届出施設における排出基準の違反者数	0	0	0	0	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
							計画額	31,069	39,854	37,366	32,354
							(一般財源)	31,069	39,854	37,366	32,354
							(単位: 千円)				
	低公害車の導入台数 (台)	市公用車における低公害車の導入台数(累計)	17	10	10	10	職員数	3.03	3.03	3.03	3.03
							(単位: 人)				
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】				
大気に汚染物質を排出している事業者及び市民(他市からの通勤・通学者を含む)	( )						大気汚染監視業務 大気汚染情報提供業務 大気環境学習推進業務				

【事前評価コメント】  
大気汚染対策は、行政が行う施策の他に、事業者や市民の協力が不可欠である。今後も啓発等により、事業者や市民への意識向上を図っていく。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	13 環境にやさしい地域社会をつくる	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	4 生活上の不快要因を減らす	【項】	リサイクル型の都市づくり
【基本事務事業】	1311 騒音・振動・悪臭に関する規制、指導、監視及び調査を行う	【基本計画区分】	403 【担当課】 3942000 環境保全課

【方針(目的)】	騒音・振動・悪臭の関係法令等に基づく規制・指導により、生活環境への負荷を軽減する。	【外部環境の変化】	市民や事業者の環境問題への関心が高まっており、快適な生活環境への市民ニーズが増加している。最近においては、工業系地域の宅地化が進行し、新たな住工混在化現象を呈している。空調機の室外機など低騒音化は進んでいるが、設置台数は増加している。県内の自動車保有台数は増加している。	【取組み課題(現状と課題)】	騒音や悪臭は感覚公害とも言われ、人によって不快と感じる度合いが異なるなど、多様な苦情に対してきめ細かな対応が必要となっている。自動車騒音の調査結果の情報提供など、関連機関との連携を強化する必要がある。市民や事業者への関連情報の提供の仕方を工夫する必要がある。	コード	配下事務事業名
【指標】	苦情件数(騒音・振動・悪臭) (件)	[H20] [H21] [H22]	68 65 62	0 0 0	【目指す成果(今後の方針)】	騒音・振動・悪臭に関する苦情件数の減少。	131101 騒音・振動・悪臭対策事業
					【内部要因(強み・弱み)】	工業系地域の宅地化に関して、関係法令による立地規制が緩い。自動車騒音の改善には、道路管理者や公安委員会、製造メーカーなどの広範な取り組みが必要となっている。住居環境やライフスタイルの変化により、地域での人的交流が希薄化している。	

【事務事業】	131101 騒音・振動・悪臭対策事業	担当課:	3942000 環境保全課				
【目的】	騒音・振動・悪臭の関係法令等に基づく規制・指導により、生活環境への負荷を軽減する。	会計区分	一般会計	計画区分	一般事業		
【指標】	苦情件数(騒音・振動・悪臭) (件)	【指標概要】	市民から寄せられた騒音・振動・悪臭に関する苦情の件数	基準値	[H20] [H21] [H22]	【事業費】	[基準年] [H20] [H21] [H22]
	( )			71	68 65 62	計画額 (一般財源) (単位:千円)	3,246 5,536 5,081 5,224 3,246 5,536 5,081 5,224
【対象】	騒音・振動・悪臭を発生する市民、事業者			0	0 0 0	職員数 (単位:人)	3.85 3.85 3.85 3.85
	( )			0	0 0 0	【関連する業務名称】	工場・事業場規制業務 建設作業規制業務 騒音等調査業務 音環境学習推進業務 環境保全対策利子補給金
【事前評価コメント】	市内工業系地域内での住宅建設により、工場適地内での住工混在化が進み、新たな環境問題の発生が懸念されている。対応として、今後とも騒音・振動・悪臭関係法令の適正な運用を図っていく。						

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	13 環境にやさしい地域社会をつくる	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	4 生活上の不快要因を減らす	【項】	リサイクル型の都市づくり
【基本事務事業】	1312 地盤沈下を防止する	【基本計画区分】	403 【担当課】 3942000 環境保全課

【方針(目的)】	地下水の採取を規制することにより、地下水の過剰な採取を防止し、地盤沈下を防止する。	【外部環境の変化】	法・条例に基づく地下水採取の規制の効果があらわれ、地下水位が徐々に上昇し、地盤沈下面積が減少してきたことに伴い、一時の危機意識がなくなった。	【取組み課題(現状と課題)】	千葉県と連携して、今後も地下水採取の規制をすとも、地下水利用量の適正化を指導する。	コード	配下事務事業名
						131201	地盤沈下防止事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	千葉県が松戸市内の地盤沈下の状況を測定しているが、県の都合により測定地点の縮小傾向にある。地下水の適正利用が望まれる。	【目指す成果(今後の方針)】	地下水位がさらに上昇する。地盤沈下面積がさらに縮小する。
一定以上の地盤沈下地点割合 (地点)	0	0	0				
( )	0	0	0				

【事務事業】 131201 地盤沈下防止事業 担当課: 3942000 環境保全課

【目的】	【指標】	【指標概要】	基準値	会計区分 一般会計			【事業費】	計画区分 一般事業			
				[H20]	[H21]	[H22]		[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
地下水の採取を規制することにより、地下水の過剰な採取を防止し、地盤沈下を防止する。	一定以上の地盤沈下数割合 (%)	地盤沈下総測定地点数に対する2cm以上の地盤沈下地点数の割合	0	0	0	0	計画額 (一般財源) (単位:千円)	5 5	0 0	0 0	0 0
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	0.15	0.15	0.15	0.15
【対象】			0	0	0	0	【関連する業務名称】	地下水採取規制業務 地盤沈下監視業務			
揚水施設(井戸)を使用する者	( )										

【事前評価コメント】  
法規制により大量な地下水使用工場・事業場が代替水源に転換し、市内の地下水位は上昇中につき、地盤沈下の懸念が減少した。今後は、法規制の他、井戸使用者に地下水使用量の適正利用を指導することにより、地盤沈下を防止する。

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

【政策】	13 環境にやさしい地域社会をつくる	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	4 生活上の不快要因を減らす	【項】	リサイクル型の都市づくり
【基本事務事業】	1313 環境保全、公衆衛生向上のための管理指導を行う	【基本計画区分】	403 【担当課】 3942000 環境保全課

【方針(目的)】	身近な生活の中で快適に暮らしていける環境づくりを推進する。	【外部環境の変化】	あき地を所有又は管理する人の意識の変化や経済社会状況の変化等により管理を十分しないあき地が増えている。また、動物を飼育する市民が増えていく傾向にあり、これに対して、環境保全及び公衆衛生向上のための管理指導を行い、市民の苦情等の問題改善の要望に応える必要性は高まっている。	【取組み課題(現状と課題)】	現状:あき地の雑草に対して苦情が発生している。住居環境やライフスタイルの変化により、ねずみや衛生害虫の発生が増加する傾向にある。ペットを飼育する人の増加に伴い、飼主のマナー欠如や不注意による苦情が増加している。狂犬病の発生に対する危機感が減少している。課題:指導の強化、知識の啓発・広報の強化、苦情対応体制の強化、庁内の連携。	コード	配下事務事業名
						131301	雑草等除去指導事業
						131302	ねずみ・衛生害虫等駆除事業
						131303	地区環境美化組織連合会補助金
						131304	動物飼養管理事業
						131305	狂犬病予防事業

【指標】	[H20]	[H21]	[H22]	【内部要因(強み・弱み)】	【目指す成果(今後の方針)】
あき地の雑草除去の苦情件数 (件)	200	190	180	雑草、動物飼育、衛生害虫の発生等環境衛生の観点からの指導強化に対して、条例等で付与された権限や行政指導に準ずる指導行為のノウハウがあり本市が実施するのが適当である。庁内の複数の部署にまたがる事象に対する対応に問題がある。	あき地の所有者等に対し、行政指導に準ずる行為としての対応強化等生活の場の衛生を保持する。犬のふんの始末等ペットの飼主への啓発をする。犬の登録と狂犬病予防注射の促進に努める。これらを実施することで市民一人ひとりが、より満足できる快適な生活環境を得ることができる。
狂犬病予防注射接種率 (%)	86	86	86		

【事務事業】	131301 雑草等除去指導事業	担当課:	3942000 環境保全課							
【目的】	雑草等が繁茂し、衛生害虫の発生やこみの不法投棄等の原因となる管理不良状態のあき地をなくす。	会計区分	一般会計	計画区分	一般事業					
【指標】	【指標概要】	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	【事業費】	[基準年]	[H20]	[H21]	[H22]
雑草除去の苦情発生件数 (件)	年間の雑草等による苦情受理件数	225	200	190	180	計画額 (一般財源) (単位:千円)	6,542	6,864	5,244	3,744
( )	( )	0	0	0	0	職員数 (単位:人)	6.35	6.35	6.35	6.35
【対象】	雑草等の繁茂で困っているすべての人	0	0	0	0	【関連する業務名称】	空き地の雑草等管理・除去対策業務			
【事前評価コメント】	あき地として把握している面積は、この数年ほぼ横ばいだが、あき地の管理不良に関する苦情要望は増加している。大規模なあき地が減る一方で、住宅地の中の管理不良地が増えてきているので、今後も市有地の管理と併せて推進していく必要がある。									

平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

<b>【事務事業】</b>		131302	<b>ねずみ・衛生害虫等駆除事業</b>	担当課: 3942000 環境保全課							
<b>【目的】</b>				会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
ねずみ・衛生害虫等を媒介とする感染症を防止することにより、公衆衛生の安全を図る。	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]
	公共下水道等の消毒回数 (回)	公共下水を計画的に消毒した回数	145	145	145	145	計画額 (一般財源) (単位:千円)	1,713	1,597	1,886	1,686
	苦情対応の消毒回数 (回)	苦情により消毒した回数	158	150	150	150	職員数 (単位:人)	3.75	3.75	3.75	3.75
<b>【対象】</b>			0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> ねずみ・衛生害虫等駆除対策・支援業				
ねずみや衛生害虫で困っているすべての市民							<b>【事前評価コメント】</b> 下水道の普及や衛生環境の改善でねずみ・衛生害虫への苦情は減少の傾向にあるが、市民の衛生意識の変化や天候の変動などにより依然需要は多い。また、災害時の防疫活動は今後も対応していかなばならない。				

<b>【事務事業】</b>		131303	<b>地区環境美化組織連合会補助金</b>	担当課: 3942000 環境保全課							
<b>【目的】</b>				会計区分 一般会計			計画区分 一般事業				
市が環境対策に取り組む町会・自治会を支援し、生活環境の向上を図る。	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]
	加盟世帯数 (世帯)	松戸市地区環境美化組織連合会の加盟世帯	42965	43000	43500	46000	計画額 (一般財源) (単位:千円)	320	320	320	320
	( )		0	0	0	0	職員数 (単位:人)	1.15	1.15	1.15	1.15
<b>【対象】</b>			0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> 地区環境美化組織連合会補助・育成				
松戸市地区環境美化組織連合会に係るすべての市民							<b>【事前評価コメント】</b> 市民の自主的な活動を支援することは、市民と協働する意味で推進していく。今後はさらに団体の自主性を伸ばしていく。				



平成19年度 第3次実施計画期間 事前評価 整理表

2007/10/25

<b>【事務事業】</b>		<b>131304 動物飼養管理事業</b>	担当課: 3942000 環境保全課									
<b>【目的】</b>			会計区分 一般会計				計画区分 一般事業					
人と動物が快適に共存できる地域づくり	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]	
	啓発看板の交付枚数 (枚)	犬の飼育管理不良で困っている人への「犬の正しい飼い方」啓発看板の交付枚数	727	700	700	700	計画額 (一般財源) (単位:千円)	114 114	114 114	114 114	114 114	
	広報啓発回数 (回)	犬の飼養管理に関する啓発広報を掲載している回数(環境保全課が取り扱う回数)	7	8	8	8	職員数 (単位:人)	0.3	0.3	0.3	0.3	
<b>【対象】</b>			0	0	0	0	<b>【関連する業務名称】</b> 啓発看板交付等広報啓発業務					
動物を飼うことに係るすべての市民												
<b>【事前評価コメント】</b> ペットを飼う市民が増えるなかで、正しい飼い方を理解していない市民も存在する。動物と人がうまく共存できるように啓発等を推進する。												

<b>【事務事業】</b>		<b>131305 狂犬病予防事業</b>	担当課: 3942000 環境保全課									
<b>【目的】</b>			会計区分 一般会計				計画区分 一般事業					
狂犬病の発生を予防することにより公衆衛生の安全を図る。	<b>【指標】</b>	<b>【指標概要】</b>	基準値	[H20]	[H21]	[H22]	<b>【事業費】</b>	<b>【基準年】</b>	[H20]	[H21]	[H22]	
	犬の登録原簿数 (頭)	生後91日以上の子犬の登録原簿数	16842	17800	18400	18900	計画額 (一般財源) (単位:千円)	3,067 -10,889	3,486 -7,939	3,486 -7,939	3,486 -7,939	
	鑑札発行枚数 (枚)	生後91日以上の子犬の新規登録数	1965	2000	2000	2000	職員数 (単位:人)	2.85	2.85	2.85	2.85	
<b>【対象】</b>							<b>【関連する業務名称】</b> 犬の登録、狂犬病予防業務					
犬を飼育するすべての市民	狂犬病予防注射接種率 (%)	登録頭数に対する狂犬病予防注射を接種した頭数の割合	86.3	86	86	86						
<b>【事前評価コメント】</b> 狂犬病の発症リスクはなくなった訳でなく常に存在する。また、犬の登録数は増加の傾向を示していることから、引続き犬の登録と狂犬病予防注射を推進していく必要がある。												